

科目名	ワークショップ3							年度	2025
英語科目名	Workshop 3							学期	前期
学科・学年	放送芸術科 2 年次	必／選	選	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員	外部担当者	教員の実務経験		有	実務経験の職種		放送業務		
【科目の目的】									
学校行事の配信業務や自主制作、産学連携課題への参加、資格取得へのチャレンジをすることで授業だけでは学べない、社会性やクライアントへの対応などを身に付けることを目的とします。									
【科目の概要】									
クリエイターのためのテーマごとの講座です。 (開講期間未定、内容に関して開講時に決定)									
【到達目標】									
クリエイターに必要な知識、スキルを身につけることを目標とします。									
【授業の注意点】									
授業中の私語、携帯端末等の使用も禁止します。特に私語は講義の進行妨害、他の生徒が講義を受けることへの妨害行為となる事ことから厳禁です。専門学校は専門知識や技術の習得だけを目的とするものではありません。学生から社会人への移行の場でもあります。社会人としてのマナーや心構えも身につけてほしいです。 ただし、授業時数の4分の3以上の出席が必要です。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	業務について理解し、 周囲への配慮や物事への 関心を示し意欲的に 参加している		業務について理解し、 周囲への配慮ができて いるが、物事への関心 がまだ足りない			業務について理解して いるが、周囲への配慮 や物事への関心がまだ 足りない			
到達目標 B	クライアントの求めを 理解し、事前準備や的 確な提案ができ、課題 に対して積極的に参加 している		クライアントの求めを 理解しているが、事前 準備が疎かでの確な提 案ができない、課題に 対しては積極的に参加 している			クライアントの求めを 理解できず、事前準備 が疎かでの確な提案が できない、課題に対 しては積極的に参加し ていない			
到達目標 C	資格、検定合格のため に熱心に勉強に組み 組み、努力した結果、み ごとと合格を掴み取れた		資格、検定合格のため に熱心に勉強に組み 組み、努力したが、合格 をすることが出来な かった			資格、検定合格のため の勉強を疎かにして、 合格をすることが出来 なかった			
【教科書】									
資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験と課題を総合的に評価する。自己分析シート提出。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

